

平成26年5月29日の移動局による測定において、全β放射能濃度が
平常の変動幅を超えた件について

平成26年9月16日
原子力安全対策課

【概要】

平成26年5月29日の人形峠環境技術センター周辺の環境放射線モニタリングにおいて、鉛山の大气塵埃中の全β放射能濃度が平常の変動幅を超えた。
原因調査の結果、自然変動によるものと推測される。

1 モニタリング測定結果（全β線放射能濃度、測定日：平成26年5月29日）

測定点	測定時間	測定結果[mBq/m ³]	平常の変動幅 [mBq/m ³]	
鉛山	17時	7,940	480~6,590	
実光	16時	5,600	560~25,200	(参考)
福吉	15時	5,900	360~10,200	(参考)
栗祖	10時	2,410	570~7,000	(参考)

2 人形峠環境技術センターへの確認

原子力機構週報（5/24～5/30）及び人形峠環境技術センター安全管理課にて、周辺環境に影響する作業が実施されていないことを確認した。

人形峠環境技術センター1（人形峠環境技術センター内のモニタリングポスト）における5月29日のモニタリング測定値は以下の表のとおり、平常の数値である。

これらの結果より、人形峠環境技術センターからの放射性物質等の放出は認められない。

3 他の地域での結果

上記1の表に示すとおり、他の地点（実光、福吉、栗祖）では、平常の変動幅の範囲内であった。木地山局及び人形峠局（岡山県）でも以下の表のとおり、全て平常の数値となっている。

表 平成26年5月29日（木）17時の固定局によるモニタリング結果（1時間値）

	空間γ線線量率[nGy/h]	全α濃度[mBq/m ³]	フッ素濃度[mg/m ³]
人形峠環境技術センター1 （通報基準）	37 (174)	21.0 (設定なし)	0.00×10 ⁻⁴ (3.3×10 ⁻⁴)
木地山局 （変動幅）	50 (13~142)	86.5* (0.2~339.5)	0.00×10 ⁻⁴ (0~2.20×10 ⁻⁴)
人形峠局（岡山県） （変動幅）	61 (19~103)	35.4 (0.4~119.7)	0.00×10 ⁻⁴ (0~0.76×10 ⁻⁴)

※ 木地山局の全α濃度の測定は3時間ごとに行い、表に記載のデータは18時の測定値。

鳥取県の変動幅は平成14年～25年の最大最小値、岡山県の変動幅は平成20年～24年の最大最小値。

4 測定時の状況

中部総合事務所生活環境局より、測定装置の異常が無かったことを確認した。なお、測定時の天候は晴れであり、降雨等の気象状況による影響は認められない。

5 原因

人形峠環境技術センターからの放射性物質の放出は認められず、測定機器に異常もないことが確認されている。よって平常の変動幅の超過は、自然変動によるものと推測される。